



2023. 12. 19

発行：嶺南教育事務所
 TEL：0770-56-1309（代表）
 FAX：0770-56-1391
 MAIL：reo-k@chive.ocn.ne.jp

嶺南教育実践フォーラムへの道 part4

令和5年度嶺南教育実践フォーラムの発表内容が決定しました。「日々の実践を共有し、交流したい!」という発表者の方の思いが詰まっています。今年度のテーマ「**つながりながら、拓く**」のもと、発表する方々やそこに集う方々との「つながり」を、「自身の学び」に、「学校のこれから」につなげ、拓いていきませんか。多数の参加をお待ちしております。



R5年度テーマ
「つながりながら、拓く」

コード	発表テーマ	発表者	日時
A-1 	小学校国語 批判的思考を働かせる国語の授業づくり ～学びの自覚に着目して～	嶺南教育事務所 研究員 谷江 久美子	2月7日(水) 14:00-14:40
A-2 	小学校算数 数学的な見方・考え方を働かせる算数の授業づくり	嶺南教育事務所 研究員 澤田 雄輝	2月7日(水) 14:00-14:40
A-3	高校社会 対話によって思考を深める歴史授業のデザインとその分析 ～哲学対話の手法を用いた「歴史総合」の授業を事例に～	若狭高等学校 教諭 松村 一太郎	2月7日(水) 15:20-16:20
A-4 	中学校英語 対話を取り入れたライティングの授業づくり	嶺南教育事務所 研究員 大橋 敏明	2月7日(水) 15:30-16:10
D-1	ICT活用 ICT活用実践交流	—	2月7日(水) 15:20-16:20
A-5 	中学校社会 資料から多面的・多角的に考察する社会の 授業づくり	嶺南教育事務所 研究員 坊 達也	2月8日(木) 14:00-14:40
A-6	小学校外国語 小学校外国語科(英語)の挑戦 ～with ICT & ALT～	西津小学校 教諭 大下 芳徳	2月8日(木) 13:40-14:40
D-2	業務改善 学校事務評価の取組による業務改善と 協働体制構築の具現化	みそみ小学校 事務職員 浦谷 時生	2月8日(木) 14:00-14:40
A-7 	中学校国語 批判的思考を働かせる国語の授業づくり ～子どもが根拠を明確にした考えを持つために～	嶺南教育事務所 研究員 柿本 尚之	2月8日(木) 15:30-16:10
D-3	マネジメント研修実践発表	気山小学校 教諭 高橋 朝美 内外海小学校 教諭 服部 縁	2月8日(木) 15:20-16:20
B-1	特別支援 担任をサポートする「学級支援」のあり方について	みそみ小学校 教頭 島津 真喜雄	2月8日(木) 15:20-16:20
C-1 	ふるさと学習 探究的な「ふるさと学習」における課題解決の質を 高める	<研究推進校> 美浜西小 鳥羽小 内浦中 大飯中 上中中	2月13日(火) 14:00-16:00
SL	特別講演 「学び合う学び」を子ども達に	東海国語教育を学ぶ会 顧問 石井順治	2月15日(木) 14:15-16:00
C-2	自然体験 個々に応じた自然体験活動 「若狭湾 海冒険」の実践報告	国立若狭湾青少年自然の家 企画指導専門職 小林 祥之	オンデマンド
C-3	自然体験 里山里海湖研究所の学校教育プログラム・講師派遣 を活用して探究活動の充実を!	福井県里山里海湖研究所 主任 伊東 宏一	オンデマンド
C-4	自然環境 ふるさと福井の宝「水月湖年縞」と年縞博物館	福井県年縞博物館 学芸員 北川 淳子	オンデマンド
C-4	自然環境 びわこのすべてを感じるミュージアム	滋賀県立琵琶湖博物館 横山 泰史	オンデマンド

マークのあるセッションは事前に発表動画を視聴してご参加ください。

特別講演はハイブリッド形式で行います!

対面:定員 60名(嶺南教育事務所にて)

オンライン:講演を配信

※参加方法を選んでお申し込みください。

申込状況により、参加方法の変更をお願いする場合があります。



石井順治先生

2次案内はこちらから↓



(裏面に続く)

セッションテーマや対象ステージを参考に、学びの扉を開いてみてください。
同じテーマの複数のセッションを受講したり、学校単位で研修したりと、いろいろな活用
の方法があります。

< セッションテーマ >

- テーマA: 学ぶ喜びを知り、自ら進んで学ぶ意欲と力の育成 (ステージ1~3)
- テーマB: 誰もが安心して学べる教育環境づくり (ステージ 全)
- テーマC: ふるさとを愛する心と社会に貢献する志の育成 (ステージ 全)
- テーマD: 新たな時代を見据えた教育環境づくり (ステージ2~3、管理職)



テーマ A



「対話的な学び」を進めなきゃいけないのは分かってるんだけど、
授業中の子ども同士の対話が充実しないんだ。

私もそうなの。フォーラムのAのセッションでは、いろいろな教科の対話について
の実践発表が聞けるみたい。全部一人で見るのは大変だから、何人が誘って、
参加した後で学んだことをシェアしましょう。



「対話的な学び」を紡ぐには、教師の在り方も大切だよ。特別講演の石井先生は、
子どもの声を聴くことを本当に大切にされた実践をしておられたんだ。
みんなで話を聞けると、きっといい学びになると思うし、学校として共通した
認識を共有できるかもしれないな。

テーマ B

A先生がクラスの子も達のこと困っているようだ。何とか、みんな
で支援したいけれど、どうしたものか…。



特別な支援を必要とする子が多いクラスですからね。フォーラムのプログラムの中
に『担任をサポートする「学校支援」のあり方について』というのがありますよ。まずは、
管理職と特別支援教育コーディネーターで参加して、学校の体制づくりを考えて
みましょう。

テーマ C



来年度は、ふるさと学習をもっと充実させて、子ども達の学びを深める内容
にしたい。でも、私は地元の人間じゃないから、あまり詳しくないし…。

それだったら、里山里海湖研究所、年縞博物館、琵琶湖博物館の発表を見て
みよう。オンデマンドだからいつでも見られるし。若狭湾青少年自然の家の
発表を見ると、体験活動の幅が広がるだろうし、ほかの学校の「ふるさと教育」
の取組を聴くのも参考になると思うよ。



テーマ D

業務改善をもっと進めたいですね。みんな頑張ってくれてるんだけど、
これ以上どんなことができるのかな？



事務職員さんの実践発表を聞いてみると新たな視点が見つかるかもしれないわ。
マネジメントやICTのセッションもいいかもしれない。いろいろな立場やいろいろな
学校の方々と話すことで、今まで見えなかったことに気づくから、少し勇気を出して
外に目を向けてみることも、これからの教師に大切なことなのかもしれないわね。

申込締切は1月9日です。ぜひご参加ください!



探究はまだまだ続きます。次回はpart5で…。

《問い合わせ》
研修課 0770-56-1302